

施策名：グリーンスローモビリティの普及促進

国土交通省環境政策課
03-5253-8268 hqt-greenslow@gxb.mlit.go.jp

分野 交通分野での未来技術の活用

総合戦略該当箇所

横2-1-(2)-viii

予算額

令和3年度当初一般会計
17百万円

特徴・ポイント

- ✓ グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動パブリックモビリティ
- ✓ 脱炭素社会の確立と地域の抱える交通、福祉等の課題解決に同時に貢献
- ✓ 少子高齢化、道幅が狭い等の地域の様々な事情に合わせて活用を考えられる「低速の小さな公共交通」
- ✓ ゆっくりな移動を楽しむことができ、おでかけや観光で外出したい気持ちを引き出すような「乗って楽しい公共交通」

目的

- ・ グリーンスローモビリティの導入を目指す地域において、利用者ニーズ、運行ルート、頻度等について実証調査等を行い、新たな活用モデルを形成し、他の地域での横展開を図る。

概要

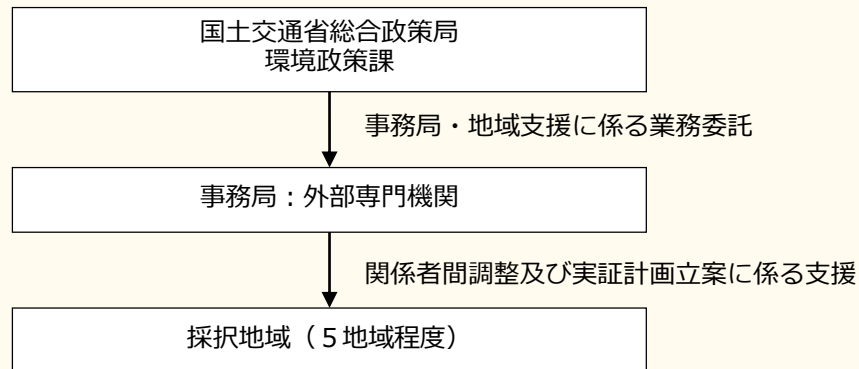
- ・ グリーンスローモビリティの活用に向けた実証調査の実施を希望する地方公共団体からの企画を募集
- ・ 地域に対して、2～4週間、車両を無償貸与すると共に、国交省が委託する外部専門機関による助言支援を実施

<期待される効果>

低速のため近距離移動を得意とするグリーンスローモビリティは、既存の交通機関を補完する新たな輸送サービスとして、地域住民のラスト/ファーストワンマイルや観光客向けの新しいモビリティ、地域の賑わい創出などの活用が期待される。

<本事業のスキーム>

H30年度：13地域から5地域を選定
R元年度：14地域から7地域を選定
R2年度：20地域から6地域を選定



<事業の主な内容>

実証期間	単年度
応募可能な団体	地方公共団体
実証中の走行体系	有償・無償を問わない (有償が望ましい)
事業の特徴	2～4週間の短い期間で 実証が可能
国が負担する費用	車両調達にかかる費用 (レンタル費、現地までの輸送費、メンテナンス費等)
採択地域が負担する費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバー手配、車庫確保、関係者間調整等にかかる費用 ・ 各事業主体の件数費 ・ 地域内での車両の輸送費（複数箇所を実証を行う場合） ・ 実績や効果の把握等に必要な調査費用

詳細

活用（又は関連）事例

広島県福山市（タクシー事業）

運行主体：アサヒタクシー（株）
運行地域：広島県福山市鞆地区
利用料金：初乗り630円
（通常タクシーと同等）
車両：ゴルフカート
事業開始：2019年4月



東京都町田市（自家用有償旅客運送）

運行主体：社会福祉法人悠々会
運行地域：東京都町田市鶴川2・5・6丁目団地と
鶴川団地センター名店街との間
登録料：年間 500 円
車両：ゴルフカート
運行開始：2019年12月

※会員登録者のみ利用可



東京都豊島区（バス事業）

運行主体：WILLER EXPRESS（株）
※豊島区より委託
運行地域：池袋駅周辺
利用料金：一回券（大人） 200円
車両：eCOM-10
運行体系：路線定期運行
運行開始：2019年11月



島根県松江市（自家用有償旅客運送）

事業主体：社会福祉法人みずうみ
運行地域：島根県松江市法吉団地ほか
利用料金：午前の運行は無料、
午後の運行は1日100円
車両：ゴルフカート
運行開始：2020年4月

※会員登録者のみ利用可

